

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6,7	身体拘束、虐待についての知識レベルは職員によって違う。そのためそれぞれの価値観や思い込みによって、不適切なケアを行ってしまうことも多々ある。その問題解決のためには、常に自分はこう思うけれど本人はどう思っているのか気付くことが大切であり、自分に問い続けることで専門性を高めていくことに繋がっていくと思う。	身体拘束、虐待についての知識を深めていき、スキルアップしたい。	毎日16:30～16:45に両ユニットの日勤者と夜勤者でミニ研修を行っている。その時間を利用して、スタッフに合わせたマニュアル作成や話し合う機会を作る。冊子や図、日頃の様子を撮影し、話し合うことにより意識づけし、「気づき」を大切にすることでスキルアップに繋がりたい。	12ヶ月
2	1,18	利用者と職員、また職員同士のコミュニケーションにより、お互いの笑顔を引き出し、利用者と一緒に楽しみながら信頼関係を深めていくことで、利用者の思いをできるだけ実践していきたい。職員の笑顔は利用者の笑顔にも繋がり、安心してもらうことで事故防止にも繋がる。	基本理念はそのままだが、毎年目標を作って取り組む。H28年度の目標として「声かけの重要性を再確認する」に取り組んでいきたい。	利用者と職員、職員同士が必ず全員に挨拶をする。その際は必ず笑顔で挨拶する。持ち場を離れる際には必ず他スタッフに声かけをして、戻ったときには「帰りました」「ありがとうございます」「すみません」といった感謝の言葉を伝える。毎日必ず全利用者とお話しをしてコミュニケーションを密にしていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。